

大学院社会産業理工学研究部



大学院社会産業理工学研究部は、社会総合科学域・理工学域・生物資源産業学域の3学域から構成されている。それぞれの学域の中には、社会総合科学域では、国際教養系・人間科学系・公共政策系・地域情報系の4つの系が、理工学域には、社会基盤デザイン系・機械科学系・応用化学系・電気電子系・知能情報系・光応用系・数理科学系・自然科学系・ナノマテリアルテクノロジー分野の8つの系と1つの分野があり、生物資源産業学域には、応用生命系・食料科学系・生物生産系・動物生産技術共同研究講座の3つの系と1つの寄附講座がある。またスタッフとしては、社会総合科学域では教授28名（内3名が女性）、准教授32名（内5名が女性）、講師4名の64名の教員が所属している。理工学域では、78名の教授、42名の准教授（内2名が女性）、26名の講師（内3名が女性）、29名の助教（内5名が女性）の175名の教員が所属している。生物資源産業学域には、13名の教授（内1名が女性）、14名の准教授（内2名が女性）、9名の講師（内1名が女性）、11名の助教（内2名が女性）の47名の教員が所属している。合計286名のスタッフで構成されており、人文科学・人間科学・社会科学・理学・工学・生命科学という非常に幅広い分野の研究者が所属している研究部である（2019（令和元）年5月1日時点）。基礎科学から応用科学まで、文系から自然系の分野に至るまでの研究者が所属し、一つの研究部を構成していることで、融合型の研究も進めやすい研究部となっている。

